

環境ホルモンの環境リスク評価計画を見直し 環境省



The Knights

環境省は、人の生殖機能に悪影響をもたらす内分泌かく乱化学物質(環境ホルモン)の毒性を調べる環境リスク評価計画を見直します。

リスク評価対象の化学物質を見直すほか、「神経毒性」や「免疫毒性」を追加するかどうかが焦点となります。

現行計画の「環境ホルモン戦略計画 SPEED98」は、65種の化学物質がリスク評価の対象で、魚類とほ乳類を用いて生体への影響を調べたところ、この中の2物質が環境ホルモンとほぼ特定されています。

魚類への影響評価により判明したもので、合成洗剤などに含まれていた「ノニルフェノール」「4-t-オクチルフェノール」です。しかし現在では業界の自主規制により使用されていません。

今後、リスク評価対象物質を増やすかどうかについては、「神経毒性」「免疫毒性」の2つの点から検討する可能性が高いとされています。

資料: 2003年10月22日付 日本工業新聞

総務部 横山 美代子

The Knights of Environmental Science
内藤環境管理株式会社

〒336-0015 埼玉県さいたま市南区大字太田窪 2051 番地 2
TEL.048-887-2590 FAX.048-886-2817
URL : www.knights.co.jp

事業内容

- | | |
|----------------------|-----------------------|
| 1 環境管理に伴う調査・測定・化学分析 | 5 土壌汚染対策法に基づく土壌汚染状況調査 |
| 2 ダイオキシン類に係る濃度計量証明 | 6 労働衛生管理に伴う作業環境測定 |
| 3 ビル管理に伴う水質検査・空気環境測定 | 7 トータルサニテーション管理 |
| 4 水道法第20条に基づく水質検査 | 8 委託試験・研究・開発 |

